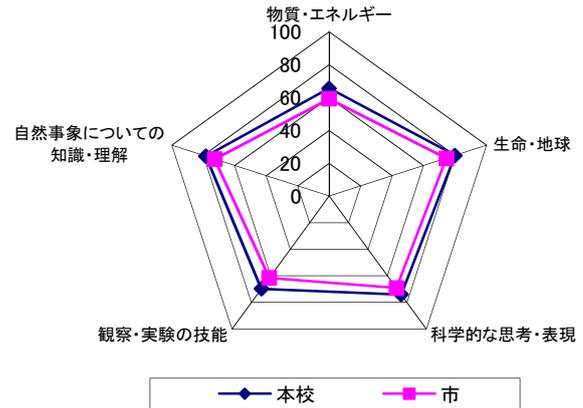


宇都宮市立宝木小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	65.6	59.3
	生命・地球	79.9	74.4
観点別	科学的な思考・表現	74.1	69.2
	観察・実験の技能	69.7	61.6
	自然事象についての知識・理解	78.3	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ものをあたためたときの体積や状態の変化についての理解は、金属のあたため方についての正答率をみると、83.2%で市の平均を11ポイント上回っているが、空気を温めたときの体積変化については55%の正答率であった。 ・空気中の水蒸気が結露する日常的な現象についての理解は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の結果を整理し考察する学習活動を充実することにより、物の変化の規則性についての見方や考え方を養うとともに、復習に力を入れることで知識・理解を身につけさせたい。 ・日常的な現象について、科学的な視点から事象を見て考えることができるように、日頃から子どもたちに問題を投げかけていく。また、復習に力を入れることで学習内容の定着へとつなげていきたい。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ・水のゆくえや、植物の発芽と成長、流れる水のはたらきや雲と天気の変化については、ほぼ理解している。特に魚のたんじょうについての理解は、正答率90%以上で、ほぼ正確に理解することができている。 ・顕微鏡等の実験器具の正しい使い方の理解は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具の使い方をもう一度よく確認し、実験器具を正しく使って観察・実験ができるよう指導していく。